AEONKIDS FACTSHEET

2017年

株式会社イーオン　広報課

お問い合わせ
TEL：03-5381-0212（森田/伊藤）
E-mail:smorita@corp.aeonet.co.jp
URL：http://www.aeonet.co.jp/

株式会社イーオン（本社所在地:東京都新宿区、社長:三宅義和）は、今年で創業44年を迎えます。現在、全国47都道府県に251校の直営スクールを有し、そのうち198校で子ども向け英語教育を専門としたイーオンキッズ（1歳～中学3年生対象）を開校しています。
日本の英語教育が大きな転換期を迎える今、44年の実績を誇る業界のリーディングカンパニーとして、日本の英語教育を牽引しています。
イーオンキッズHP：http://www.aeonet.co.jp/kids/

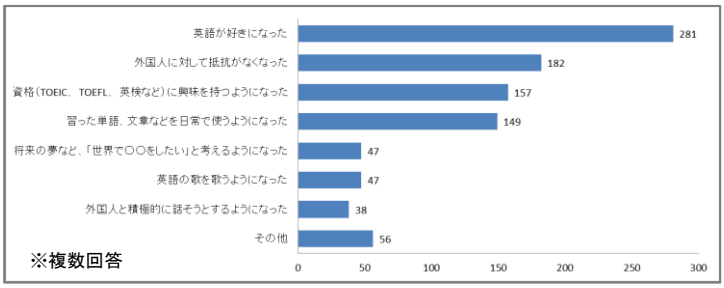
子どもたちが、世界で堂々と活躍できる英語力を

グローバル社会で生きていくこれからの子どもたちは、英語の知識はもちろん、問題解決能力やコミュニケーション・コラボレーション力、情報リテラシーといった能動的な力を高めていくことが大切です。学校教育の場でも2020年に小学3年生からの英語必修化、5年生からの英語教科化、さらに、2021年には中学校の英語授業のオールイングリッシュ化が決定しました。また、2020年以降の大学入試における英語の学力評価には「聞く・話す・読む・書く」の4技能試験が導入される計画です。
イーオンでは、早くから4技能を重視したプログラムにより、子どもたちの「使える」英語力の向上に貢献してきました。そして2016年4月、世界の英語教材で実績あるセンゲージ ラーニング社とオリジナル新教材を共同開発しました。多くの子どもたちが、自ら課題を提示して解決し、自分で学んでいける自律型学習者になっていただけるよう、力強くバックアップしていきます。

株式会社イーオン
代表取締役社長 三宅義和

英会話スクールに通い始めた子どもの変化
～イーオンキッズ保護者を対象とした「子どもの英語学習に関する意識調査（2016年3月調査）」より

イーオンキッズのスクールに通い始めたことによる、子どもの英語に対する変化について尋ねたところ、「英語が好きになった」との回答が最も多く、半数以上の281名に上りました。以下、2位には「外国人に対して抵抗が無くなった（182名）」が続いたほか、3位には「資格に興味を持つようになった」が昨年の調査（5位）からランクアップする結果となりました。
イーオンキッズでは資格試験にも力を入れており、2015年度第2回実用英検においては、全国で延べ2,361名のイーオンキッズ生が受験し、1,553名が合格。合格率は65.8%と高い水準となりました。2015年はさらに、「資格試験合格応援キャンペーン」と題したキャンペーンも実施。こうした取り組みにより、「資格に興味を持つようになった」がランクアップする結果に結びついたものと考えられます。



調査方法：インターネットによる調査
対象：イーオンキッズ（1歳～小学6年生まで）の保護者様　500名

～グローバル化に向けて～イーオンは小学生対象に新教材を導入

2017年3月に告示された新学習指導要領には、全教科を通じて、知識を身に付けるだけでなく、それを使って思考、判断、表現する力、また、主体的に社会と関わろうとする姿勢の育成も重視されています。イーオンキッズではこれに先立ち、2016年4月より小学生用の教材を刷新、また以前より開講していた小学校3年生以上の文法クラスに加えて、2017年4月より小学校1，2年生向けの読み書きクラスを新設しました。

日本の学校英語教育が変わる今、求められるのは「聞く・話す・読む・書く」の4技能を使いこなす力

■2017年度第1回より、英検3級、準2級にライティング試験が導入され、3級以上のすべての級において4技能化されます。
■2019年度から中学3年生全員を対象に4技能を測る英語新テストが始まります。
■2020年に小学校5・6年生の英語が教科化され、小学校3・4年生から外国語活動が始まります。
■2020年に大学入試センター試験は廃止され、4技能を測る新たな試験に変わります。
■2021年度から中学校での英語の授業は全て英語で行われることになります。

新教材「ENGLISH OCEAN」でグローバルに活躍する子どもたちを強力に支援

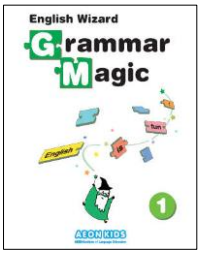
世界各国の英語教材・システムで実績ある、センゲージ ラーニング社と共同開発。
日本人が学びやすい教材、デジタルレッスン導入など、早期英語教育をスムーズに行います。

□グローバルな視野を持ち、「世界の一員」としての自覚を促します。
□失敗を恐れず、積極的に英語を使おうとする態度を養成します。
□自ら学ぶ力を育て、発表する力を育成します。
□小学校6年生までに、英検3級レベルの英語力を習得します。

「読む」「書く」の基礎力を育てる
ABC Magic

＜小学校1・2年生向け読み書きクラス＞
・英検5級レベルの頻出後（約280語）が読め、意味が分かるようになる。
・「音と文字のつながり」の規則性に気づき、応用できるようになる。
・基本的な英語の語順や構文に気づき、ルール（文頭を大文字に、等）に従って文が書けるようになる。

英語のルールに自ら気づき応用する
English Wizard Grammar Magic



＜小学校3~6年生向け文法クラス＞
・英検3~5級レベルの文法を学習し「聞いて話せる」に加えて「読めて書ける」英語力の基礎を固める。
・英検学習用教材で定評のある旺文社とイーオンが教材を共同開発。
・イラストや例文から、自分で考え英語のルールを見つけ出すように促し、子ども知的好奇心を刺激する。

レッスンだけではないイーオンキッズの活動
～英語を披露する場を用意することで、モチベーション向上～

2016年11月12日（土）に中国四国地域、2016年11月27日（日）に東日本全域を対象にキッズスピーチコンテストを開催しました。それぞれ、両地域に通うお子様たちが各校の予選を勝ち抜き、本選に出場しました。昨年度より導入された新教材「ENGLISH OCEAN」でプレゼンテーション力を鍛えた生徒たちのスピーチに期待が集まります。

このほかにも、2016年夏にはグループ会社「留学ジャーナル」とのコラボレーションで、ケネディ宇宙センター体験プログラムが催行されました。説明が英語のみの宇宙飛行士トレーニング体験なども含まれ、将来の夢と英語を結び付け、モチベーションを高めています。

イーオンキッズで、早い段階から際立つ英検成果

大学入試や資格試験も、読解中心の試験から「聞く・話す・読む・書く」に重点を置いた4技能試験に移行しつつあります。イーオンキッズでは低年齢から4技能をバランスよく学習。子どもたちの成長を形にすべく、国連英検ジュニアテスト、児童英検、実用英検、TOEIC Bridge®テストなどの資格取得を目指します。

英検合格率は65.3%！日本英語検定協会の発表を大きく上回っています。

早期英語教育のニーズに応えるイーオンキッズでは、毎年多くの英検合格者を輩出しています。2016年度2回実用英検では、全国で述べ2,066人のイーオンキッズ生が受験し、1,350人が合格。合格率65.3%の高い水準で、日本英語検定協会が発表している合格率を大きく上回っています。
また、2016年で英検2級に合格した中学生は119名、準1級に合格した中高生は88名。
イーオンキッズからの継続の成果が見て取れます。

【イーオンキッズ全体合格率】

	5級	4級	3級	準2級	2級	準1級	合計
受験者数	402人	506人	606人	387人	148人	17人	2,066人
合格数	365人	374人	338人	223人	45人	5人	1,350人
英検協会の合格率	81.4%	69.9%	52.9%	36.7%	26.4%	16.0%	50.3%
イーオンキッズの合格率	90.8%	73.9%	55.8%	57.6%	30.4%	29.4%	65.3%
最年少合格者の学齢	5歳児	小学1年生	小学1年生	小学2年生	小学4年生	中学2年生	
最年少合格者の在籍校	つくば桜校	本八幡校 掛川校	那覇 国際通り校	光が丘校 本八幡校	京橋校 本厚木校		

英検協会の合格率は一般も含む全受験者に対するものです。
イーオンキッズの合格率は中3までの受験者に対する数値です。

【イーオンキッズ年齢別合格者数】

	5級	4級	3級	準2級	2級	準1級
5歳	1人					
小学1年生	5人	2人	1人			
小学2年生	15人	6人	5人	2人		
小学3年生	42人	17人	6人	3人		
小学4年生	79人	42人	18人	4人	2人	
小学5年生	89人	64人	32人	5人	1人	
小学6年生	67人	85人	59人	16人	3人	
中学1年生	61人	100人	42人	18人	1人	
中学2年生	6人	55人	114人	48人	7人	1人
中学3年生		3人	61人	127人	31人	4人

※2016年度第2回実用英検を対象とした調査

イーオンキッズのICTに関する取り組み

イーオンでは、2015年に全教室のシステム基盤を刷新。マイクロソフトが提供するCRMソフトウェア「Microsoft DynamicsCRM」を導入することにより、各教室やカスタマーサービススタッフ等が連携し、より最適な学習支援が可能となりました。また、全教室の情報を一元管理することで、入会から卒業するまでの情報を一括管理することにより、よりきめ細かなケアやカウセリングを行う体制を整えました。

学習・上達管理サービス「学習ポートフォリオ」を2016年6月より運用開始

社内システム基盤刷新の一環として、2016年より新たに導入された「学習ポートフォリオ」は、生徒のレッスン状況や学習記録、評価などを一括管理し、到達度を定量的に測定することができるサービスです。レッスンの出席状況や、生徒専用の自宅学習サポートサイト「イーオン・ネット・キャンパス」での自宅学習状況を自動的に記録するほか、レッスン以外での自主学習履歴も生徒自身で記録していくことで、生徒の学習情報を総合的に集約します。また、教師によるレッスン評価や、各種試験スコアなどのデータを連動させることで、生徒の学習状況を分析、英語力の到達度を可視化して具体的に認識することができます。

これにより、生徒は学習状況全体を把握できるだけでなく、英語力の到達度や今後の学習方針を客観的に確かめることができるようになり、学習のモチベーションも高めていく効果があります。また、定量化されたデータは、生徒の進捗や苦手分野などを割り出すことで、一人一人の学習目的に合わせたきめ細かなカウンセリングや指導に活用されます。

http://www.aeonkids-iclub.com/

ICT教育の先進性を取り入れたデジタルレッスン

学校教育においても、ICTの活用による協働型、双方向型の授業が始まりつつある現在、子どもたちがグローバル社会を生き抜くためには、ICTリテラシーを身に付けることも必須です。イーオンキッズでは2016年度より、小学生以上のクラスにおいてデジタル機器を活用したレッスンを行っています。イラストや写真、動画を用いた豊富なコンテンツは、子どもたちの想像力を刺激し、豊かな創造性を発揮させます。

レッスン以外でも学習できる環境を！

自宅で楽しみながら英語が学べる生徒専用・自宅学習サポートサイト

AEON KIDS i-CLUB アイクラブ

楽しく英語に触れられるデジタルコンテンツが満載。レッスンと連動しているため、自宅でも子どもの英語力を伸ばすことができます。また、ゲーム感覚で楽しみながら学習できるので、飽きずに続けられるように工夫されています。

小学校の英語教育導入に伴い、子ども向けオンライン英会話の利用も増えています。

小学生、中学生向けの子ども向けオンライン英会話も受講生が増えています。厳しい基準で独自採用した外国人教師による、担任制のプライベートレッスンで、曜日や時間を固定して習い事感覚で受講される方が多いです。小学校での英語教育早期化、教科化の影響もあり、生徒の継続更新率はほぼ100%。また、スクール通学だと年齢別にクラス分けされている場合が多いため、帰国子女のオンライン英会話需要は常に一定のニーズがあります。

＊レッスン画面イメージ

会社沿革（抜粋）

●1973	創立
●1976	オリジナル教材開発　⇒　1988年：TOEFLテスト、TOEICテスト、英検などの試験対策コース、海外旅行、リスニング強化等の目的別オリジナル教材開発本格化。
●1979	カリフォルニア州に外国人教師採用拠点を開設。アメリカ人教師を全て現地採用に踏み切る。
●1985	独自のL&Aメソッドを開発。ループシステムのラウンドアップレッスン導入。
●1989	CI導入。　イーオンに社名変更。本社ビル（岡山）竣工。
●1993	全国外国語教育振興協会（全外協）に加盟。
●2003	インターネットと電話を利用したオンラインリアルタイム英語教育スクール「AEONET ACADEMY」を開設。同年、旧（株）ICS国際教育センターを子会社化。社名を（株）留学ジャーナルと変更する。
●2004	中国語学校・ハオ中国語アカデミー開校。
●2006	株式会社イーオンがプライバシーマーク取得。
●2007	株式会社イーオン・イースト・ジャパンがプライバシーマーク取得。
●2010	「前受金分別信託制度」開始。　預かり授業料の約50%を「みずほ信託銀行」信託保全。
●2012	TOEIC®テスト満点教師が教える「超」勉強本発刊。
●2013	株式会社イーオン創立40周年。iPad®を使ったデジタルレッスン本格導入。
●2014	1月1日付けで株式会社イーオン・イースト・ジャパンを株式会社イーオン（本社：東京都新宿区）に社名変更し、同1月1日付けで株式会社イーオン・セントラル・ジャパン、株式会社イーオン・ウエスト・ジャパン並びに株式会社イーオン語学教育研究所の英会話関連事業を吸収合併。 企業向けの語学研修・セミナーなどをサポートする法人部（東京本社）において、国際標準化機構（ISO：International Organization for Standardization）が定める学習サービスの国際規格「ISO29990：2010」取得。
●2015	法人部門「学校教育課」を新設。学校の授業に専門講師を派遣、教員に英語指導ノウハウを提供。全教室のシステム基盤を刷新。
●2016	キッズ用新教材「ENGLISH OCEAN」導入。 「学習ポートフォリオ」を運用開始。
●2017	ラグビー日本代表のオフィシャルサポーター契約を締結。 「AEON eラーニング」オープン。